

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572610129		
法人名	有限会社 水谷		
事業所名	グループホームおおた		
所在地	大仙市太田町齊内字中田201		
自己評価作成日	令和5年11月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.akita-longlife.net/evaluation/">http://www.akita-longlife.net/evaluation/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	令和5年12月1日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・ コロナが5類になってからは、少しずつではあるが外で行う行事(夏祭り・花見・外食・紅葉ドライブなど)を増やして以前のように楽しんでいただいています。  
 ・ 施設裏にある畑で野菜の収穫を職員と利用者さんで行っています。今年度は枝豆、さつまいもなど収穫しました。他にはネギや里芋も植えています。  
 ・ 運動不足解消の為、毎日ラジオ体操を継続して行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域の繋がりを大切にしながら利用者へのより良い支援を目指して、管理者はじめ職員が生き生きと業務しており、利用者は地域に溶け込んでゆったりと過ごしています。中学生の職場体験では一緒に食事をつくって利用者に喜んでいただき、行政の出前講座の開催にあたっては、地域住民がお茶菓子をつくり、事前の準備から手伝っていただいています。地域に親しまれるホームづくりを心がけていてホームの広報は毎月地域にも配付され、有事の際は勿論のこと、常日頃から相互に協力し合えるこの土地で暮らしてきた人々との良い関係性が保たれています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~46で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
47	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:19,20)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	54	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9,15)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
48	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	55	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,16)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
49	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:19)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	56	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
50	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:30)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	57	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
51	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:41)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	58	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
52	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	59	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
53	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月勉強会を開催して総理解を深め一人ひとりが理念に沿った支援に努めている。	地域との繋がりを大切にし、利用者が安心して楽しく暮らせるホームづくりを目指しており、職員の明るさが利用者に安心感をもたらし、理念に基づいた支援が実践されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	最近では地域との交流が少しずつ増えて来て散歩に出かけた時に声をかけてもらったり、職員が地域の作業に参加したりしている。	地域の環境保全の作業に職員の参加を続けている他、行政の地域向けの出前講座を児童館を借りて設定、開催し、準備段階から地域の方々に手伝っていただいております、地域の一員としての交流が続いています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	毎月広報作成して、その中に認知症をテーマとした事を盛り込んだり、認知症なんでも相談室であることを伝えたりしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度からは書面ではなく、児童館に委員の方から来ていただき、直接意見を頂いたり、地域で起きている事などをテーマとした情報交換を行っている。	対面の開催に戻り、欠席者には事前に資料送付して意見の提出を依頼し、率直な話し合いを行っています。地域の情報を得る機会でもあり、参加者の意見、質疑をサービスの向上に活かすことができるよう努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議だけではなく他の場面でも介護保険事務所、包括支援センター、民生委員などの方から、意見・助言を頂いて協力関係を築いている	介護保険事務所、福祉事務所の地域向けの出前講座の実施が運営推進会議を通じて提案され、開催されています。	
6	(5)	○身体拘束及び虐待をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」及び「高齢者虐待防止関連法」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組むとともに、虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全事業所で「身体拘束0」に向けての研修を行っている。必要なケースが生じた場合には綿密に検討して出来るだけ回避する事を話し合っている。現在は拘束している方はいない。	布団やドアに鈴をつけて身体拘束にならない工夫をしている他、安全のためのサイドレールの使用について等、ケアの中で発生する事案について話し合う機会を多くつくっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	代表を先頭に自立支援、成年後見制度についての研修会を開催している。必要があれば専門機関へつなげられるように、話し合っている。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約または改定等の際は利用者の家族等の不安や疑問点を訪ね十分な説明を行い同意のサインを頂いている		
9	(6)	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、要望、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、適切に対応するとともに、それらを運営に反映させている	意見箱を玄関に設置し、管理者が定期的に確認し、電話での要望や苦情等にも時間の制限を設けず対応している。頂いた意見、苦情等には業務改善会議で検討している。	苦情が出ることはないものの、コミュニケーションづくりを心がけ、利用者の状況を報告しながら意見、要望の引き出しに努めています。	
10	(7)	○運営や処遇改善に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や職場環境、職員育成等の処遇改善に関して、職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを適切に反映させている	職員との個別面接、朝礼で出た意見を幹部会議で取り上げ反映している。	職員の意見は家族の意見と共に毎週行われる幹部会議で報告されています。勤務形態の変更希望や建物環境についての意見、提案を反映させています。	
11		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型介護事業者連絡会の研修や会議時に同業者との交流を図り意見交換やネットワーク作りに取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期のアセスメントやセンター方式等を利用して本人の人生の足跡を把握し本人の理解に努めている。		
13		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期のアセスメントを通じて、家族の悩みや要望を理解し関係づくりに努めている		
14		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、レクリエーションや家事などを一緒に行う事で教えたり教えられたりしながら、関係を築いている。		
15		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の介護に対する悩みを聞いたり、本人の生活状況や体調の変化などを報告して一緒に対応策を考えたりしている		
16	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように、支援に努めている	以前から仲が良かった友達や家族と携帯電話でメールや電話をしていたが、ホーム利用してからも、継続している。	墓参りのための外出、外泊はコロナ禍ということもあり、できない状況が続いています。それでもできることを家族に協力をお願いして関係継続のための支援に努めています。	
17		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う人、趣味が同じような人などを職員が把握して、席を近くにしたりグループで活動したりして利用者さん同士の親睦を図っている		
18		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後も家族さんからの相談や世間話などで関係性を持っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向、心身状態、有する力等の把握に努め、これが困難な場合は、本人本位に検討している	日常のささいな会話や、センター方式、家族からの聞き取りで意向や希望を把握するようにしている	家族に入居前の生活の様子を聞き、居室での利用者との会話や日常の様子から意向を汲み取っています。職員が気づくことも多く、業務日誌や申し送りで状況を共有しています。	
20		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常の会話や家族からの聞き取りなどで把握するよう努めている		
21	(10)	○チームでつくる個別介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した個別介護計画を作成している	担当者会議や毎月の定期会議などで意見を出し合い個別の介護計画を作成している	担当職員が中心となってモニタリングし、他の職員の意見も聞いて介護計画が作成されています。家族の意見は利用者の状況報告をした際に聞いています。	
22		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や個別介護計画の見直しに活かしている	介護経過記録に記載して定期的に個別介護計画に生かしている。		
23		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握して個々に合った支援が行えるよう取組んでいる。		
24	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には家族や本人がかかりつけ医や薬局を選択している。また定期受診については職員が同行し状態を報告し健康管理に努めている。薬局に関しては服薬について相談したり不明な点では指導を受けている。	入居前からの医療機関で受診できるよう支援しており、家族に対応していただくこともあります。年2回協力歯科医の健診を受け、緊急時の対応が可能であり、協力内科医の訪問診療を受けている方もいて緊急時にも対応していただいています。	
25		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	小規模の看護師に生活状況や体調・服薬に関して相談し利用者が適切な受診や介護が受けられるように努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は介護サマリーを交付して、生活状況や体調の変化が、いち早く分かるように努めている。また退院が決まれば担当者会議を開催して退院後の生活を的確に行えるようにしている		
27	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事前に説明をして、重度化した利用者さんに関しては家族とよく話し合い、事業所でも出来ることを説明している。また場合によりドクターの往診時に来所していただき説明してもらっている。	医師の対応が可能ではあるものの、職員の態勢が整わないこともあって看取り支援は行っていません。利用者の状態の変化に伴って医師が家族に説明し、次の支援に繋がっています。	
28		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時についての研修を定期的に行い全職員が対応できるようにしている		
29	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行い地域の方からも協力をもらい訓練を行っている	地域ぐるみで防災に取り組み、コロナ発生以前は地域の合同訓練、炊き出しに参加し、ホームの訓練にも地域の協力があり、役割を決めて実施していました。ホームでは26日を防災の日とし、通報訓練等を行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活歴を把握してその方にあった言葉がけや対応をしている。また方言で話をするが、不快になるような言葉は使わないように心がけて対応している。	特に言葉遣いには気をつけ、周囲への配慮をも怠らないようにしています。異性介助に問題はなく、要望があれば対応しています。	
31		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人で出来ない方には職員が手伝いを行っている。また外出時には職員と一緒に衣類を選んで出かけている		
32	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	アンケートなどで利用者さんの食べたいものを聞き出し、献立に取り入れている。また旬の物を使った料理と一緒に作ったり、食器洗いを手伝ってもらっている。	積極的に手伝う利用者もいます。畑で採れる野菜も楽しみの一つで、どう調理して食べたいかを聞いたりして献立の参考にしています。利用者は自力摂取していますが、むせることが多くなり、職員が見守っています。	
33		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を毎回チェックして、健康状態を把握している		
34		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、清潔に努めている。また歯肉炎などのある利用者さんには職員が歯間ブラシで磨いている 年2回の歯科検診と治療の必要な方には、歯科往診にもきてくれる。		
35	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表にチェックして、排泄パターンを把握して、声掛けや誘導して、できるだけトイレでの排泄が出来るようにしている。	厚いパッドから薄い物に、リハパンから布パンツにと適切に誘導することで改善できた事例もあり、その人毎の支援が行われています。	
36		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝の牛乳、昼のヨーグルト、毎日のラジオ体操を行い便秘予防に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回の入浴になるが夏場などは、希望があればシャワー浴などもプラスしている。ほとんど午前の入浴だが、状況により午後に入浴する事もある。	ゆっくり入浴できるよう支援しています。重度の方はシャワー浴で対応しています。	
38		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	戸を開けておきたい人、暗くして寝たい人など一人ひとりの生活習慣にあわせて支援している		
39		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	体調変化があった時などは、状況を詳しく記載し医療機関へ情報提供を行い、薬についても、分からないことがあれば薬剤師さんへ相談している。		
40		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の状態や状況にあった役割や楽しみ事を提供して、張りのある生活をして頂けるよう支援している。		
41	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	以前よりは外出の機会が少なくなったがその中でも、花見・紅葉・お祭り・夏祭り・お食事会など利用者さんが以前から喜んで参加してくれた行事を今も継続して行い、楽しんでいただいている	紅葉狩りに出かけて外食してきたり、家族と買い物に出かける方もいます。駐車場を利用して食事会やお茶会を開き、外気浴ができる環境の中でいつもと違う雰囲気を楽しむことができるよう支援しています。	
42		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者さんのなかでは買い物をしたいという方がいるので受診時、病院のコンビニなどで好きな物を購入して頂いている。支払いは本人が支払えるようにしている。		
43	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	感染予防のため換気は頻繁に行い、室温・湿度は常に注意している。 ゴミは1日2回捨て、不快な匂いがしないよう、臭いの強い物は新聞紙に包んで捨てている。	これからの季節は床暖房による乾燥に気を配ると共に、空気清浄機を稼働させながら特有の臭いがしないよう気をつけています。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや廊下のところどころにソファを置いて、気の合う人と会話ができるようにしている		
45	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた、使い慣れた物を持って来ていただいたり、家族の写真や自宅で咲いていた花(ドライ)を飾ったりして居心地が良い工夫をしている	共用の場所と同様に感染防止のための換気を行っています。ベッドを本人の動線に合わせて配置する等、本人、家族と相談しながら安全な生活の場をつくっています。	
46		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自分の居室やトイレなどが分かるよう名前を付けて迷わず移動できるようにしている		